携帯電話接続 自動通報器

Model. MR９７１１

取 扱 説 明 書

INST No. MR－91A

CHINO

株式会社チノー

この度は、『携帯電話接続自動通報器　ＭＲ９７１１』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。トラブルなどを未然に防ぎ、本器の機能を十分にご活用いただくためにも、本取扱説明書を事前によくお読み下さい。

目　　次

１．ご使用になる前に …… 1
２．使用上のご注意 …… 1
３．各部の名称と役割 …… 2
４．設置および配線 …… 3
4-1．設置前の確認事項 …… 3
4-2．本体取付 …… 3
4-3．ＡＣアダプタ …… 4
4-4．接続ケーブル …… 4
4-5．携帯電話 …… 4
4-6．カードロガー …… 5
4-7．接点端子への接続 …… 5
５．設定 …… 6
5-1．通報先番号１の設定 …… 8
5-2．通報先番号２～８の設定（または登録済み番号の変更・取り消し） …… 9
5-3．本体パラメータ（ＩＤ番号，暗証番号）の設定･変更 …… 10
5-4．異常発生元ごとのパラメータ（動作モード，通報メッセージ，通報先，通報順）の設定 …… 11
5-5．再通報（再通報の有／無および再通報間隔）の設定 …… 17
６．運転および動作 …… 18
6-1．通報動作 …… 18
6-2．再通報動作 …… 23
6-3．再通報・後続通報の停止 …… 24
6-4．通報履歴（現状況）の確認 …… 26
6-5．外部（電話機）からの状況確認 …… 27
6-6．専用カードロガーの取り外し・再取付 …… 28
6-7．通報リセット …… 29
７．その他の取り扱い …… 30
7-1．通報器本体のその他の表示 …… 30
7-2．その他の操作 …… 31
８．故障？と思ったとき …… 32
９．仕様 …… 34
＜メモ＞ …… 巻末

１．ご使用になる前に

本器は、制御・監視機器等からの警報接点信号を入力とし、あらかじめ登録された最大８ヶ所までの通報先に、本器と接続された携帯電話から自動的に発信させ、無線で通報を行う『自動通報器』です。専用の『カードロガー』(別売）と組み合わせることにより、異常の場合の温度データを音声で通報することが出来ます。
また、登録された電話機から、異常の発生状況や温度等の現在値を確認することもできます。

- 本誌は、いつでもお読みになれるよう、大切に保管して下さい。
- 本誌巻末に保証書があります。必ずお買い上げの販売店の捺印をお受け下さい。

箱の中身をご確認下さい

・本体・・・・・・・・・・・１台（ＭＲ９７１１）
・ＡＣアダプタ・・・・・・・１個（ＭＶ９０００）
・ロガーホルダー・・・・・・１個
・接続ケーブル・・・・・・・１本（約６０㎝）
・取扱説明書・・・・・・・・１部

２．使用上のご注意

ご注意

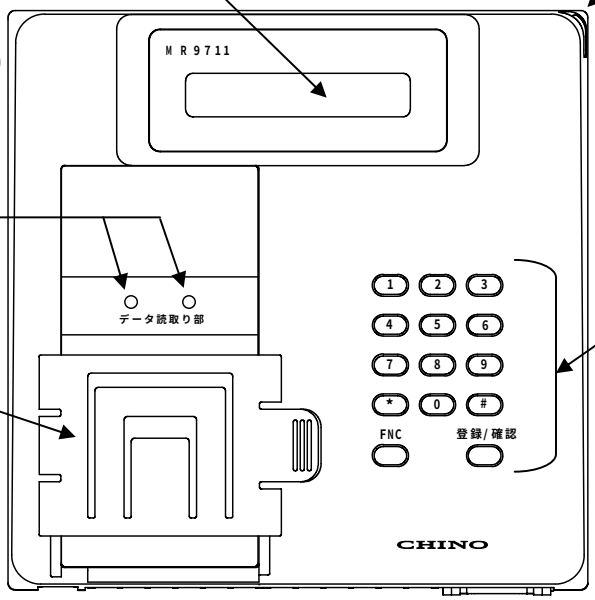
◆濡れた手で本器を触らないで下さい。
ＡＣアダプタがＡＣコンセントに接続されている時、濡れた手で本器に触れると、感電の原因となります。

◆以下の条件下での使用・保管はしないで下さい。
- ５℃以下、または３５℃以上になる場所での使用
- 携帯電話の受信感度の弱い場所や電車のパンタグラフ、放電機など強いノイズの多く発生する場所での使用
- 本体に直接、雨や水が掛かる場所
- 湿度が高く、結露する場所
- 直射日光が当たる場所
- 落下させたり、衝撃を与えたりしないで下さい。
- ご使用にならない時は、電源を外して保管して下さい。
- データ通信読取窓には、キズや汚れをつけないで下さい。

◆本装置は、異常温度や各種設備の異常を防止する装置ではありません。
本装置の設置後、万一事故や損害が発生しても責任を負い兼ねますのでご了承下さい。

◆ご使用になられる携帯電話等の電話機についての詳細は、その電話機の取扱説明書をお読みになるか、販売店にお問い合わせ下さい。

３．各部の名称と役割



表示部

・設置時の内容確認をします。
・ｶｰﾄﾞﾛｶﾞｰ取付時の時刻・ﾃﾞｰﾀ表示を行います。
・ｶｰﾄﾞﾛｶﾞｰ不使用時は、通電からの経過時間表示です。(24 時間制)
・通報中の状況表示を行います。

携帯電話用ｽﾄﾗｯﾌﾟ引掛部

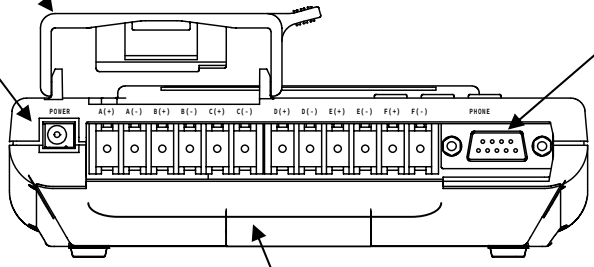
データ読取部

操作キー

下記の操作時に使用します。
・設定の確認・変更
・状況確認
・発生通報のﾘｾｯﾄ
・ｶｰﾄﾞﾛｶﾞｰ取り外し

ロガーホルダー*1

ｶｰﾄﾞﾛｶﾞｰ使用時の落下防止用ﾎﾙﾀﾞｰです。



ロガーホルダー※1

両端の爪部を引っ掛けて押さえます。

電源ジャック

ACｱﾀﾞﾌﾟﾀからのｼﾞｬｯｸを差し込みます。

接続ｹｰﾌﾞﾙ差込用ｺﾈｸﾀ

携帯電話接続用のｹｰﾌﾞﾙ(9 ﾋﾟﾝ側)を差し込みます。

接点入力端子

A～F まで、それぞれ　+，－を一組として、警報発生機器等からの導通信号出力線を結線します。

※1：ロガーホルダーは、付属品として同梱されていますので、工場出荷時は本体側には取り付けられておりません。

４．設置および配線

4-1．設置前の確認事項

①発信用として本器に接続される携帯電話について

ＮＴＴドコモの携帯電話で機種が２０７、５０１ｉ以降または同等機能の機種をご使用下さい。（製造会社は問いません）

詳しくは、携帯電話販売店でお確かめ下さい。

> ⚠ 適用機種以前の古い機種では、動作確認や保証を行っておりませんので、ご注意下さい。

②設置される場所の環境について

ご使用予定の発信用携帯電話の電波強度の確認をし、電話機の表示にてアンテナマーク「 」が出ている場所でご使用下さい。

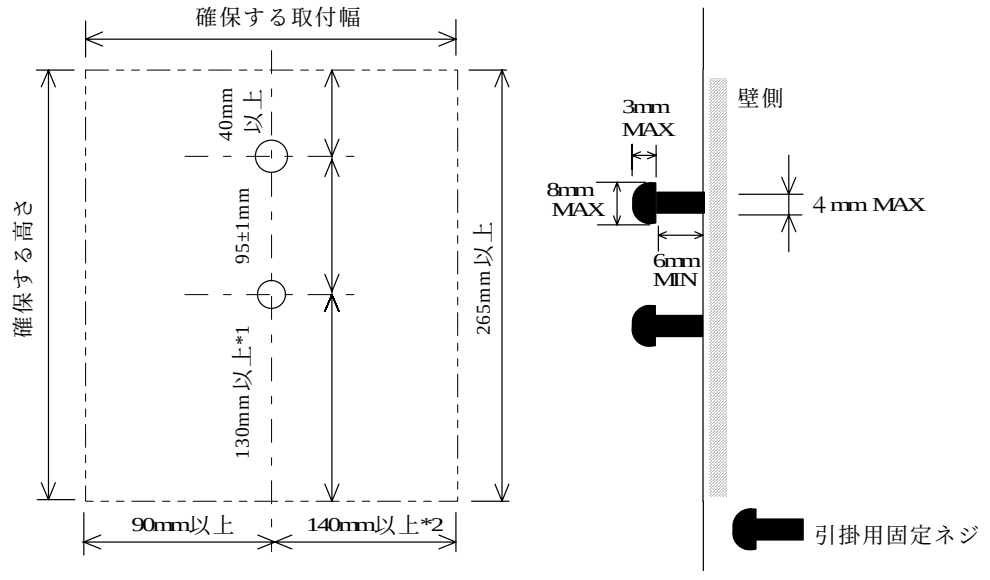
> ⚠ ◆「圏外」表示や棒状表示が２本以下「 」のところでは、通報ができなかったり、受信メッセージの内容が変化したり途絶えたりします。また、外出先からの状況確認もできない場合があります。
>
> ◆金属の扉や柱のすぐそばでは、感度が落ちる場合があります。

③設置する場所の温度が５～３５℃の範囲にあること，雨や水しぶきが直接かからないことを確認して下さい。

> ⚠ 直射日光や水を避ける目的で、専用ケースをお客様でご用意される場合、金属をご使用されますと携帯電話の感度を低下させる可能性がありますのでご注意願います。プラスチック系のケースか木製のケースでのご使用をお勧めします。

4-2．本体取付

本体を壁など垂直な部分に取り付ける場合、壁面に下図に従って固定ネジを取り付け、本体裏面の穴（２ヶ所）を引っ掛けて取り付けて下さい。



※1：携帯電話用接続ケーブルの引き回し分を含んだ最小寸法です。

※2：携帯電話を本体右上に引っ掛けた場合の寸法を考慮した値です。

4-3．ＡＣアダプタ

・ＡＣアダプタからのプラグを本体底面左側の電源ジャック部（「ＰＯＷＥＲ」と表示）に根元までしっかりと差し込みます。

・ＡＣアダプタの本体部をＡＣ１００Ｖコンセントに差し込みますが、全ての結線が完了してから差し込んで下さい。
但し、電源ジャックを最後に差し込んでもかまいません。

・コンセントは、雨や水に濡れない場所に設置して下さい。ケーブルの長さは、約２ｍです。

◆コンセントが水で濡れると、漏電や感電の恐れがあり、非常に危険です。
◆床面に近い高さで設置しますと、雨水が溜まった場合等に上記の危険が発生しますので、高い位置に設置して下さい。

4-4．接続ケーブル

付属のケーブルの９ピン側のコネクタを本体底部右側のコネクタ部（PHONE と表示）に差し込み、両端にある固定ネジを回して本体にしっかりと固定します。

ケーブルがしっかりと固定されていないと、途中で抜けてしまい、通報ができなくなる恐れがありますので十分ご注意して下さい。

4-5．携帯電話

上記で本体に接続したケーブルの他端にＮＴＴドコモの携帯電話（機種：２０７または５０１ｉおよび同等機能以上の機種）を接続します。

◆接続する携帯電話は、その携帯電話購入時の付属充電器で完全充電してから本器に接続して下さい。それ以降は、本器より充電されます。
◆携帯電話とコネクタで接続する場合は、極性がありますので、凹凸などの形状に注意しながら「カチッ」という音がするまで差し込んで下さい。無理に差し込みますと不良の原因になります。差し込んだ後、軽く引っ張って抜けないことを確認して下さい。
◆携帯電話の周辺温度が仕様温度範囲（５～３５℃）外になりますと、携帯電話内部の保護回路が働いて充電が停止され、携帯電話の電池が残っているあいだは通報出来ますが、その温度のまま放置しますと通報が出来なくなりますので５℃以下や３５℃以上での温度環境では携帯電話内蔵電池の使用時間以上の連続運転は出来ません。（通報器本体は、0～45℃の範囲でも使用可能です）
◆一日の内、環境温度変化が一時的に５℃以下や３５℃以上になる場所で使用する場合は、５～３５℃の温度範囲での運転を最低６時間以上は確保してください。
そのような環境では、電池の消耗量に対して充電量が不足することも考えられますので電池残量の確認を定期的に行ってください。
残量が少ない場合は５～３５℃の温度範囲で携帯電話機付属の充電器を使用して充電して下さい。通報動作がない場合で１週間以内に１回、通報動作があった場合は一時間以内を目安として確認して下さい。
◆ 冬場で連続的に５℃以下になる場合は、携帯電話に水道管凍結防止用ヒータなどを使用し、５℃以下にならないようにしてください。
◆通報器に接続している携帯電話を通話目的で使用するときは、接続ケーブルからはずしてください。但しその間は通報が出来ませんので充分注意して下ください。またご使用後は、必ずもとにもどして下さい。

4-6．カードロガー

ロガーホルダーを外し、（付属品のため、工場出荷時は別物品となっています）ロガー裏面のデータ読取部が通報器本体のデータ読取器と対向するように本体に合わせます。

（通報器のロガー設置部にある約４×３mm の凸部とロガー裏面にある凹部を合わせるようにします）

そのまま手で押さえ、さらにロガーホルダーの両サイドの爪を通報器本体の引掛部に合わせるようにしてロガーの上からはめ込みます。

> ⚠ 搭載するロガーは、事前に専用の取扱説明書をよくお読みになり、設定（時刻、警報温度，上／下限警報，必要ならば収録スタート）を行ったうえで、本器に取り付けて下さい。

4-7．接点端子への接続

・外部機器の接点信号を使用して通報を行う場合、本器底面の接点入力端子に接続して下さい。

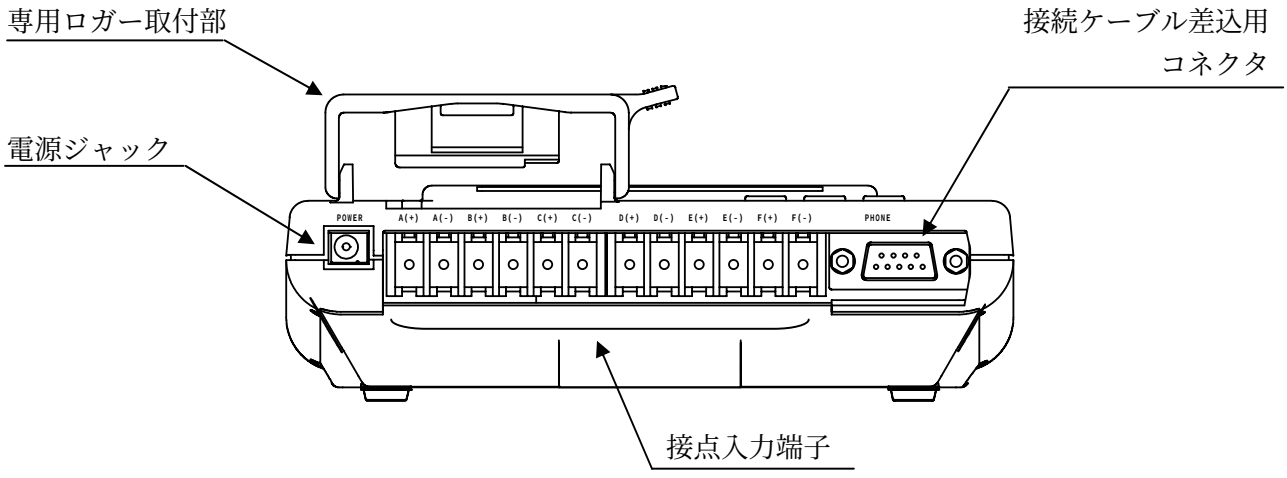
・接点入力端子は２個で１組となり、A接点、B接点・・・F接点となります。

・端子はM３ネジでの固定となっております。

＊半導体出力のように出力に極性がある場合は、下図各端子毎に左側（＋）・右側（－）を接続して下さい。

> ⚠ 本機器への接点入力は、無電圧接点、または半導体による無電圧有極入力です。
> 有電圧状態で接点入力を行いますと、故障の原因となります。
> リレー等を使用し、無電圧接点状態で使用して下さい。

通報器底面(端子)図



５．設定

本器にて、設定できる項目の一覧を次に示します。具体的な操作方法は、参照項に記載された項目をお読み下さい。

設定項目一覧表

	項　　目	内　　容	参照項	備　　考
1	通報先 No.1 No.2 ∫ No.8	通報先の電話番号の設定	5-1 5-2	必ず設定してください。 必要に応じて設定します
2	ＩＤ番号	本器を複数台使用し、同一の電話番号に通報する場合の識別用番号です。	5-3	初期値は「００」です。
3	暗証番号	本器に登録されていない一般電話やＰＨＳから、本器に電話をかける場合に使用します。	5-3	初期値は「０００００」です。
4	接点入力モード	導通信号を異常とするか、開放信号を異常とするかを設定します。	5-4①	初期設定は導通時異常です
5	文字メッセージ （フリーメッセージ）	ポケベルや携帯電話へのショートメール※に送信する文字メッセージで、各接点端子番号毎にメッセージが変換コードで自由に変更できます。 ※NTTﾄﾞｺﾓとの契約が必要です。	5-4②	初期設定は「セッテン□ガイジョウデス」です。 □内は接点入力端子に応じてＡ～Ｆが入ります。
6	ＩＤ番号送信	文字メッセージ送信時にＩＤ番号を先頭に付加するか、しないかを設定します。 付加しない場合は、受信器での表示がその分左詰めされます。	5-4②	初期設定では付加します。
7	音声 （文書作成）	音声で通報する場合のメッセージ内容を各接点端子番号毎に文章がワードリスト内の言葉の組み合わせで作成することができます。	5-4③	初期設定は、 「ＩＤ□*1，接点□*2が異常です」となっています。 *1 はＩＤ番号が、また*2 は接点入力端子に応じてＡ～Ｆが入ります。
8	通報先・通報順	各接点端子番号や専用カードロガーからの異常情報毎に、登録された電話番号内で通報先の選択や通報順が変更できます。	5-4④	初期設定では、登録された通報先すべてに通報先 No.登録順に通報されます。
9	再通報	音声通報が受信されなかった場合や文字メッセージ通報の場合の再通報有／無を選択します。	5-5	初期設定は「有」となっています。
10	再通報間隔	再通報有の場合の間隔時間を設定します。 15 分,20 分,25 分,30 分の中から選択します。	5-5	初期値は 15 分となっています。

操作キーと設定関連項目対応表

第１操作キー	第２操作キー	関 連 項 目	設　定　項　目
1　５秒間	――	接点Ａ	動作モード→文字メッセージ／音声メッセージ／通報先→通報順
2　５秒間	――	Ｂ	
3　５秒間	――	Ｃ	
4　５秒間	――	Ｄ	
5　５秒間	――	Ｅ	
6　５秒間	――	Ｆ	
7　５秒間	――	ロガーデータ１	通報先→通報順
8　５秒間	――	ロガーデータ２	
9　５秒間	――	ロガー電池消耗・通信不良	
0　５秒間	――	本体停電	
＊　５秒間	1	接点Ａ	再通報有／無→再通報間隔
	2	Ｂ	
	3	Ｃ	
	4	Ｄ	
	5	Ｅ	
	6	Ｆ	
	7	ロガーデータ１	
	8	ロガーデータ２	
	9	ロガー電池消耗・通信不良	
	0	本体停電	
FNC５秒間	0	本体関連	本体ＩＤ番号→暗証番号
	1	通報先 No.１	電話番号の登録 ↓ 通報種（電話／ｼｮｰﾄﾒｰﾙ／ﾎﾟｹﾍﾞﾙ）
	2	通報先 No.２	
	3	通報先 No.３	
	4	通報先 No.４	
	5	通報先 No.５	
	6	通報先 No.６	
	7	通報先 No.７	
	8	通報先 No.８	
	9　10 秒間	全　設　定　ク　リ　ア	
登 録　５秒	――	警報動作の解除（リセット）	

注)・1～9, 0キーの５秒間押しの時、最初の１秒間は、「イジョウハアリマセン」の表示が出ます。
但し、異常発生中（表示部右側に「＊」マーク点滅）は、通報履歴の表示モードとなりますので上記表の設定変更はできません。

・異常発生中は、登録キーの５秒間押しによる警報動作解除（リセット）の操作しかできませんので他の設定条件等を変更する場合は、警報動作の解除後に実施して下さい。

5-1．通報先番号１の設定

はじめて運転する時は、必ず設定します。
本項の手順を操作することにより、他の設定が順次行えます。

手順	表示内容	操作内容	備　　考
1	ツウホウサキガアリマセン	登録キーを押します。	電源投入後､約２０秒後に表示されます。その途中では、機種･バージョン No.等が表示されます。
2	ツウホウサキ：１	①0～9のキーで通報先 No.1の電話番号を設定します。 ＊FNCキーで後戻りができます。 ②登録キーで登録します。	最大 16 桁まで設定できます。
3	ツウホウサキ　　Ｓメール [デンワ]　　ポケベル	①4,6キーで［ ］表示を移動させて通報の種類を選びます。 ②登録キーで登録します。	[デンワ]：電話に音声で通報。 [ﾎﾟｹﾍﾞﾙ]：ポケベルに文字メッセージで通報。 [Sﾒｰﾙ] ：携帯電話にショートメールで通報。*1 *1 NTTﾄﾞｺﾓへの契約が必要です
4	〈時刻画面〉 ☆☆：☆☆		登録完了の場合に表示します。

・手順４〈時刻画面〉での☆☆：☆☆表示は、電源投入時からの経過時間を表示し、23：59 以降は再び 00：00 に戻ります。（電源 OFF 時も 00：00 に戻ります）
・専用カードロガーが搭載されている場合は、カードロガーの時刻とその時の測定値が表示されます。
・以降の操作説明箇所においても同様の表示となります。

5-2．通報先番号２～８の設定（または登録済み番号の変更・取り消し）

通報先が 2 ヶ所以上必要な場合に設定します。

＊通報先が一件の場合、本項の操作は必要ありません。

手順	表示内容	操作内容	備　　考
1	☆☆：☆☆	FNC キーを約５秒間押します。	
2	セッテイ　[0]ホンタイ [1]―[8]：ツウホウサキ	2 のキーを押し、通報先 No.2 を選択します。	No.1 は、5-1 項にて登録済みとなっていますので変更する場合以外は不要です。
3	ツウホウサキ：2　ミセッテイ	登録キーを押します。	すでに登録されている場合は、その内容が表示されています。
4	ツウホウサキ：2	①追加する通報先の電話番号を設定します。 ※FNC キーで後戻りできます。 ②登録キーで登録します。	登録済み番号と同じ電話番号は設定できません。
5	ツウホウサキ　　Ｓメール [デンワ]　　ポケベル	①4,6 キーで[　]表示を移動させて通報先への手段を選びます。 ②登録キーで登録します。	[デンワ]：音声で通報します。 [ﾎﾟｹﾍﾞﾙ]：ポケベルの文字メッセージです。 [Ｓﾒｰﾙ]：携帯電話へのショートメールです。*1 *1 NTTﾄﾞｺﾓへの契約が必要です。
6	☆☆：☆☆		正常に登録された場合は、[ツウホウサキ２トウロクＯＫ]の表示後、時刻画面に戻ります。

＊ 通報先の変更：手順４にて変更したい電話番号の数値まで戻り、新たな電話番号を入力して下さい。

＊ 通報先の取り消し：手順２にて、取り消す No.を選択し、手順４の FNC にて全ての数値を消した後に登録キーを押して下さい。その後は、手順５を実行します。

⚠
・3 ヶ所目以降の通報先を追加する場合は、上記手順１～５を繰り返し行って下さい。
但し、手順２での操作キーは 3 以上となります。
・手順２で[0]を選択した場合は、本体へのパラメータの設定となります。
5-3 を参照して下さい。

5-3．本体パラメータ（ＩＤ番号，暗証番号）の設定変更

・自動通報器を複数台使用し、同じ電話番号の通報先へ通報する場合で、通報元を区別したい場合は、ＩＤ番号を変更することにより、識別ができます。初期値は「００」です。

・登録されていない一般電話やＰＨＳから本器の状態を確認したり、異常の後続通報を停止させる場合には、暗証番号が必要です。初期値は「００００」です。

＊変更の必要のない場合は、本項の操作は必要ありません。

手順	表示内容	操作内容	備　　考
1	☆☆：☆☆	FNC キーを約５秒間押します。	
2	セッテイ　[0]ホンタイ [1]―[8]：ツウホウサキ	0 のキーを押します。	
3	ホンタイＩＤ　セッテイ [００]：＿＿	・00～99 の範囲内で希望する２桁の値を設定します。 ・やり直す場合は、FNC キーを押します。 ・登録キーで登録します。	・画面左下には、登録済みの値が表示されています。（初期値は 00 です。） ・登録受付の画面表示後、次画面になります。
4	アンショウ No.　セッテイ [００００]：＿＿＿＿	・０００００～９９９９の範囲内で希望する４桁の値を設定します。 ・やり直す場合は、FNC キーを押します。 ・登録キーで登録します。	・画面左下には登録済みの値が表示されています。（初期値は 0000 です。） ・登録受付の画面表示後、次画面になります。
5	☆☆：☆☆		

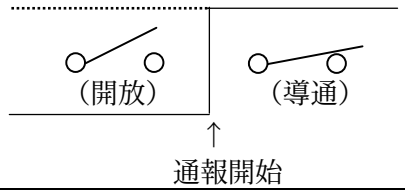
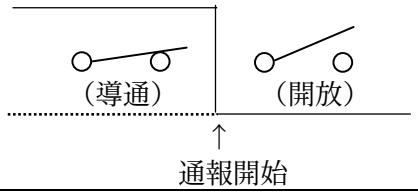
・各数値の設定画面では FNC キーで後戻りできます。
・有効桁数をオーバーすると、最初の桁に戻ります。

5-4．異常発生元ごとのパラメータ（動作モード，通報メッセージ，通報先，通報順）の設定
①動作モード（導通信号時通報／開放信号時通報）の設定）

手順	表示内容	操作内容	備　　考
1	☆☆：☆☆	1のキーを約５秒間押します	途中で「イジョウハアリマセン」の表示がされますが、かまわず連続で押してください。
2	CnA　[A]　B　　モード カイホウ→タンラクジ　ツウホウ	①4,6のキーで、[　]表示を移動させ、ＡまたはＢを選びます。 ②登録キーで登録します。	[A]：導通信号入力時に異常 [B]：開放信号入力時に異常
3	CnAヘンコウ　　オンセイ [メッセージ]　　ツウホウキ	FNCキーを押してこのモードを抜けます。	
4	☆☆：☆☆		

⚠
- 手順３にて、登録キーを押すと通報メッセージ（文字または音声）の変更や通報先、通報順の変更モードとなります。５－４②項以降を参照して下さい。
- 上記手順は接点Ａでの例です。接点Ｂ～Ｆの設定を行う場合は、手順１にて、それぞれ2～6のキーを押して下さい。
- 専用カードロガーに対する動作モードの変更（上・下限警報）はカードロガーの取扱説明書をお読み下さい。

参 考 ：接点入力動作モードについて

モード	入力信号変化	備　　考
Ａモード		開放信号が導通信号に変化した時点で通報します。
Ｂモード		導通信号が開放信号に変化した時点で通報します。

⚠
１度異常信号入力があり、通報中や解除待ちの状態（表示部右上に「＊」マークが点滅）の時は、上記パラメータの変更や確認はできず、警報履歴の確認（6-4 項 参照）のみとなります。変更・確認をする場合は、状況確認（６－６項参照）の後、通報解除（6-7 項 参照）して下さい。

②文字メッセージの変更

工場出荷時は、「ＩＤ０セッテン□※ガＮＧ」となっていますが、文字変換コードに従った数値を入力することで、自由に作成できます。（※：Ａ～Ｆが入ります）

５－４①項での手順１～２までの操作の後、メッセージの変更モードとなります。

手順	表示内容	操作内容	備　　考
3	ＣｎＡヘンコウ　　オンセイ [メッセージ]　ツウホウサキ	①4,6のキーで、[　]表示を移動させ、[メッセージ]を選びます。 ②登録キーで登録します。	前記①項の手順１～２を実施してからの操作です。
4	ＣｎＡメッセージ　[　　]: セッテンＡ　ガＮＧ＿	・変換コード表を参照し、希望の文字に対応した２桁の数値を入れます。 ・登録キーで１文字を確定します。 ・同様操作で順次文字を確定します。 ・メッセージ文が確定したら最後に#キーを２回押します。	・下段には登録済みのメッセージが表示されています ・消却または修正したい場所はFNCキーで１文字づつできます。 ・最大 20 文字以内で設定できます。
5	ＩＤバンゴウ　　ソウシン [アリ]　　ナシ	①4,6のキーで、[　]表示を移動し、「アリ」または「ナシ」を選びます。 ②登録キーで登録します。	[アリ]：文字メッセージに ID No.が付加されます [ナシ]：文字メッセージに ID No.は付加されません
6	☆☆：☆☆		

変換コード表

2桁目の数値 1桁目の数値	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	ー	／
7	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&	w*1	t*1	c*1
8	ヤ	（	ユ	）	ヨ	＊	#	空白	h*1	s*1
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	6	7	8	9	0

注）*1 の小文字は、文字メッセージでは送信されず、空白になりますので使用しないで下さい。

参 考 : 設定例

・「オンド　ＮＧ！」と設定する場合の設定

「１５」+「０３」+「４５」+「０４」+「８８」+「３９」+「２７」+「６８」
オ　ン　ト　゛　（空白）　Ｎ　Ｇ　！

変換コード表は、ドコモネクストに対応しております。
センティ仕様のポケベルは、対応しておりませんので、ご使用できません。
（数値の表示や意味不明の文字となります。）

・手順４にて FNC キーで右側文字より１文字ずつ消却できます。
・最大 20 文字まで設定できますが、使用するポケベルの入力可能文字数以内で設定して下さい。
所定の範囲を超えますと、送信が２度に分けられたり、またポケベルの一画面内では表示できない場合があります。
・専用カードロガーからの通報で使用される文字メッセージは変更できません。

文字メッセージの「¥」，変換コードで【７６】は、本器の表示では空白になりますが通信先では「¥」メッセージになります。

③音声メッセージの変更

工場出荷時は、「ＩＤ０接点□※が異常です」となっていますが、ワードリストに従った数値を入力することで音声メッセージを作成できます。

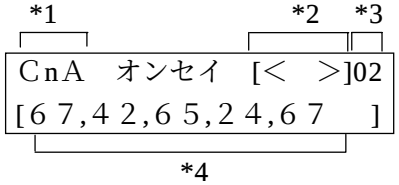
(※Ａ～Ｆが入ります)

５－４①項での手順１～２までの操作の後、メッセージの変更モードとなります。

手順	表示内容	操作内容	備　　考
3	CnAヘンコウ　　オンセイ [メッセージ]　ツウホウサキ	・4,6キーで[　]表示を移動し、[オンセイ]を選びます。 ・登録キーを押します。	前記①項の手順１～２を実施してからの操作です。
4	CnAオンセイ　　[　　] ○○○○○○○	・登録済みの文章をFNCキーで１ワードずつ消去します。 ・ワードリストを参照し、希望のワードに対応した２桁の数値を入れます。※1 ・登録キーで１ワードを確定させます。下段の○印が増加します。 ・同様の操作で順次文字を確定します。	・下段には登録済みのワード数の分だけ○印が表示されています。 ・最大 20 ワード登録できます。
	CnAオンセイ　　[　　>]01 [２３，６７，４２，６５，２４]	・＊キーを押すとそれまでに登録されているワードのリスト番号が５ワード分だけ確認表示されます。※2 再度＊キーを押すと元へ戻ります。 ・メッセージが確定したら最後に#キーを２回押します。	・５ワード以外の確認は、4,6キーで表示を移動させて確認できます。
5	☆☆：☆☆		

※1 事前にワードリストを参照し、設定する２桁ずつの数値列をメモし、そのメモを見ながら設定することをお勧めします。

※2 確認表示



＊1　メッセージを作成する接点入力端子番号を表示します。

＊2　「<」印は、画面左に、「>」印は画面右に設定されているが表示されていないワードがあることを示します。

＊3　表示されている最初のワードが先頭から何ワード目かを示します。

＊4　設定されている５ワード分のリスト番号を表示します。

⚠ ・ ワードリストに従って、メッセージを作成する場合、ワードとワードの間にポーズ時間（無音帯でワードリスト番号６１～６９）を適当に挿入すると聞きやすい文章となります。

・専用カードロガーからの通報で使用される音声メッセージは変更できません。

ワードリスト（フリー音声メッセージ作成時の入力値と言葉との対応表）

入力	ワード	入力	ワード
０１	ＩＤ（アイディ）	３８	状態を
０２	マイナス	３９	確認します
０３	０	４０	正常です
０４	１	４１	通報中です
０５	２	４２	Ａ（エー）
０６	３	４３	Ｂ（ビー）
０７	４	４４	Ｃ（シー）
０８	５	４５	Ｄ（ディ）
０９	６	４６	Ｅ（イー）
１０	７	４７	Ｆ（エフ）
１１	８	４８	ロガー
１２	９	４９	冷蔵庫
１３	１０	５０	冷凍庫
１４	２０	５１	暖房機
１５	３０	５２	機器
１６	４０	５３	発生しました
１７	５０	５４	強風警報が
１８	６０	５５	大雨警報が
１９	７０	５６	断水が
２０	８０	５７	制御
２１	９０	５８	温室
２２	１００	５９	水位
２３	接点	６０	度
２４	が	６１	空白時間　0.02 秒
２５	異常です	６２	空白時間　0.04 秒
２６	温度	６３	空白時間　0.06 秒
２７	湿度	６４	空白時間　0.08 秒
２８	電池	６５	空白時間　0.1 秒
２９	停電です	６６	空白時間　0.2 秒
３０	通報を	６７	空白時間　0.3 秒
３１	解除	６８	空白時間　0.4 秒
３２	しますか	６９	空白時間　0.5 秒
３３	しました	７０	
３４	する場合	７１	
３５	しない場合	７２	
３６	を	７３	
３７	押して下さい	７４	

⚠ 入力番号の６１～６９の空白時間 0.02～0.5 秒は言葉と言葉の間の時間をあける場合に使用します。一般的には、0.1 秒か 0.2 秒を使用し、不自然な場合はその長さを変更してください。

参 考 ：設定例

・「暖房機ＩＤ３７が異常です」を設定する場合

「５１」＋「６５」＋「０１」＋「１５」＋「１０」＋「２４」＋「６５」＋「２５」
暖房機　(0.1 秒の空白)　ID　30　7　が　(0.1 秒の空白) 異常です

④通報先・通報順の変更

工場出荷時では、5-1，5-2 で登録された全通報先に、通報先番号順に通報されますが本項での設定により、異常発生元（接点入力端子Ａ～Ｆおよび専用カードロガーからのデータ警報やバッテリ切れ、または停電発生時等）ごとに、登録されている電話機の中から通報する電話（通報先）を自由に選択でき、また通報する順番も自由に変更できます。

異常発生元毎の専任管理者への通報や通報優先順位が異なる場合にご利用下さい。

⚠
・５－４手順１において、カードロガーや本体の停電時の設定を行う場合は、
　[7]キー：ＣＨ１データ
　[8]キー：ＣＨ２データ（2CH ﾀｲﾌﾟのｶｰﾄﾞﾛｶﾞｰ使用時に有効）
　[9]キー：カードロガーの内蔵電池・通信不良
　[0]キー：本体の停電
　を押して下さい。
・本設定を行わない場合は、登録された全ての通報先に通報先番号順に通報を行います。

５－４①項での手順１～２までの操作後、通報先・通報順の変更モードとなります。

手順	表示内容	操作内容	備　　考
3	ＣｎＡヘンコウ　　オンセイ [メッセージ]　ツウホウサキ	[4],[6]キーで[　　]表示を移動させ、[ツウホウサキ]を選び、[登録]キーを押します。	５－４①項の手順１～２を操作してからの操作です。
4	ＣｎＡ　[１２３４５６７８] [＿　　]	・上段に表示されている番号が登録されている全通報先番号です。その中より、実際に通報させる通報先番号を希望する通報順に従って選択します。 ・選択された番号順にその番号が下段へ移動します。※1 ・[登録]キーで登録します。	・初期状態では、5-1，5-2 項で設定された全通報先が点灯表示されています。 ・２回目以降の表示では、設定された通報先・通報順の No.が連続点灯表示され、通報されない通報先 No.が点滅しています。
5	☆☆：☆☆		

※１　下段に移動せず、上段に残った番号の通報先へは、通報されません。

〈設定例〉

ＣｎＡ　[１２３４５　　８]　→　ＣｎＡ　[　２　４５　　]
　　[＿　　]　　[　　３８１　　]

通報先の電話は、No.1，2，3，4，5，8 の６ヶ所が登録されておりますが、
接点Ａに異常信号が入力された場合は、No.3，8，1 の順に通報されます。
通報先番号　No.2，4，5 の電話へは通報されません。

・設定内容を確認するために、手順４の表示になった場合でも設定は行って下さい。
・上段に表示されている数値で、連続点灯している数値が直前の設定内容です。
・点滅している数値は、電話の登録のみが行われているだけで、その異常発生元に対する通報先には選択されていません。

5-5．再通報（再通報の有／無および再通報間隔）の設定

一連の音声メッセージが受信されない場合や、ポケベル・携帯電話への文字メッセージ送信の場合、通報を確実にするために、工場出荷状態では初回通報後、約 15 分後に再通報を行うように設定されていますが、再通報間隔の時間変更や再通報を行わないようにすることができます。

・音声メッセージは、10 回まで繰り返し送信した後、自動切断します。 繰り返しの送信中に、電話を強制的に切られた場合は、通報完了と見なし、再通報しません。
・繰り返しの音声メッセージを送信した通報先へは、再通報は行いませんが、電波の弱い場所や電話に出られなかった場合、または１回目の音声メッセージの途中で強制的に電話を切られた場合は、その通報先へ再通報します。
・通報がポケベルやショートメール等文字メッセージの場合は、必ず再通報を行います。
・通報が音声メッセージのみで再通報無に設定しますと、通報時に電話に出られなかった場合、１度も通報されないことが起こり得ますので、最低１件は必ず受信ができる通報先を設定して下さい。

手順	表示内容	操作内容	備　　考
1	☆☆：☆☆	＊キーを約５秒間押します。	
2	サイツウホウ　セッテイ セッテンバンゴウ？	設定する異常発生元に対応する番号を押します。	1：接点A，2：接点B 3：接点C，4：接点D 5：接点E，6：接点F 7：ﾛｶﾞｰCH1ﾃﾞｰﾀ 8：ﾛｶﾞｰCH2ﾃﾞｰﾀ (2CH の時のみ) 9：ﾛｶﾞｰﾊﾞｯﾃﾘｰおよび通信 0：本体の停電
3	バンゴウ　□※1ノサイツウホウ [アリ]　　ナシ	4,6キーで[　　]表示を移動させ、[アリ]／ [ナシ]を選び、登録キーで登録します。	工場出荷状態は[アリ]となっており、再通報を実行します。
4	[１５] ２０　２５　３０ ツウホウ カンカク セッテイ	再通報間隔を選びます。 4,6キーで[　　]表示を移動し、希望する時間を選び、登録キーで登録します。	手順３にて[ナシ]を選んだ場合は、手順４での値は無効です。
5	☆☆：☆☆		

※１　手順２にて押したキーの値が表示されます。

６．運転および動作

前項までの設置・結線・設定が完了すれば、通報のための運転準備は完了です。
念のために、再度次の項目を確認して下さい。

・設置環境が仕様温度範囲内（５～３５℃）であり、直射日光が照射されたり、雨や水が掛からないか等、電源コンセントの位置にもご注意下さい。
・携帯電話接続ケーブルや接点入力信号の結線に緩みがないか。
・携帯電話の電波受信感度が充分で安定しているか。
・携帯電話の充電量が充分あるか。（携帯電話の表示でご確認下さい。）
・専用カードロガーをご使用の場合、警報値・警報動作モードの設定は完了しているか。

・自動通報運転に入る前に、異常信号を手動で入力し、通報動作が正常に行われるかを確認することをお勧めします。
・本器には、充電式バッテリが内蔵されており、停電時には動作をバックアップし、停電通報を自動的に行う機能がありますが、完全充電には約 48 時間必要です。
その前に停電が発生した場合は、バックアップ時間が短くなったり、また停電通報ができない場合がありますので、充分にご注意願います。

6-1．通報動作

設定された異常条件が発生しますと、それぞれの発生元（異常入力種）に設定されているメッセージが自動的に通報されます。
また、複数の異常が発生している場合は、その発生した異常入力種、全てのメッセージを連結して通報します。

・音声による通報が完了していない状態のときに新たな異常信号が発生した場合、その通報は、設定されている再通報間隔時間まで遅れる場合があります。

１）音声メッセージの場合
５－２項、手順４にて「デンワ」が選択されている通報先に音声メッセージで通報される内容です。

・各音声メッセージが 10 回繰り返し通報され、その後は自動的に切断されます。
・初回メッセージの途中で、受信者から切断した場合や電波が弱いために自動切断された場合は、通報未完了と判断され、再通報されます。
・通報文章を１回以上聞いた後は、どの時点で通話を切断しても通報完了と判断し、その電話番号へは再通報されません。
・０や１のキーを押さないで、電話を切断した場合は、（後続）警報は解除（停止）されません。

A）接点信号入力時の通報内容

「ＩＤ　0　接点　A　が　異常です
　　*1　　*3
　　*2

通報を解除しますか？　解除する場合は０を、しない場合は１を押して下さい」
*4

解　説

＊１．通報器に設定されている識別番号（ＩＤ値）が通報されます。
＊２．入力端子毎に設定されたフリー文が通報されます。上記の通報例は、接点入力端子Ａに異常が入力された場合での工場出荷時の初期メッセージ設定です。
＊３．異常が入力された接点入力端子に応じて、Ａ～Ｆが通報されます。
＊４．通報を受けた電話機が一般電話やＰＨＳの場合は、通報内容に付加されますが、携帯電話の場合には付加されません。

B）カードロガーからの異常信号入力時の通報内容

①ロガーデータが異常の場合

「ＩＤ　0　温度が異常です　１３時３４分　温度　３７度
　　*1　　*2　　*3

通報を解除しますか？　解除する場合は０を、しない場合は１を押して下さい」
*4

解　説

＊１．通報器に設定されている識別番号（ＩＤ値）が通報されます。
＊２．通報をした時点のカードロガーの時刻を送信します。再通報の場合は異常発生時刻とは、異なります。
＊３．通報をした時点のカードロガーの測定データを送信します。再通報の場合は異常発生時刻の測定値とは、異なります。但し、小数点以下は省略されます。
＊４．通報を受けた電話機が一般電話やＰＨＳの場合、通報内容に付加されますが、携帯電話の場合には付加されません。

②ロガーバッテリーや通信が異常の場合

ロガー内蔵のバッテリーが消耗した場合や、カードロガーが脱落などして、通信が不良になった場合に通報される内容です。

「ＩＤ　0」「ロガー電池が異常です」
　　*1　　*2

「通報を解除しますか？　解除する場合は０を、しない場合は１を押して下さい」
*3

解　説

＊１．通報器に設定されている識別番号（ＩＤ値）が通報されます。
＊２．通信が不良の場合は、「　ロガーが異常です　」となります。
＊３．通報を受けた電話機が一般電話やＰＨＳの場合、通報内容に付加されますが、携帯電話の場合には付加されません。

⚠
・不用意にカードロガーを通報器本体から取り外しますと、通信不良が発生したと認識され、自動通報されますのでご注意下さい。（6-6 項　参照）
・バッテリー異常が発生しましたら、すみやかに所定のバッテリーと交換して下さい。（カードロガーの取扱説明書を参照）

C）通報器本体の電源が停電した場合

「ＩＤ　0」 停電です
　　*1

「通報を解除しますか？　解除する場合は０を、しない場合は１を押して下さい」
*2

解　説

＊１．通報器に設定されている識別番号（ＩＤ値）が通報されます。
＊２．通報を受けた電話機が一般電話やＰＨＳの場合、通報内容に付加されますが、携帯電話の場合には付加されません。

・本体に停電が発生した場合のバックアップ時間は、約 60 分間です。
それ以上の時間が経過した場合は、通報動作ができなくなりますので、確実に受信ができる通報先に通報できるよう設定して下さい。
・バックアップ時間の６０分は、本体が 48 時間以上無停電で、連続運転された場合の時間で、停電が頻繁に発生している場合は、６０分以下になる場合があります。

2）文字メッセージの場合
5-2 項手順４にて、「Ｓメール」や「ポケベル」が選択されている通報先に文字メッセージで送信される内容です。

A）接点信号入力時の送信内容

「ＩＤ ００ セッテン Ａ ガ ＮＧ」
*2 *4
*1 *3

解　説

＊１．5-4 項②手順５にて、ＩＤ番号送信「ナシ」が選択されている場合は、付加されません。
＊２．通報器に設置されている識別番号（ＩＤ値）が送信されます。
＊３．入力端子毎に設定されたフリー文が送信されます。上記の送信例は、接点入力端子Ａに異常が入力された場合の工場出荷時の初期メッセージ設定です。
＊４．異常が入力された接点入力端子に応じてＡ～Ｆが送信されます。

B）カードロガーからの異常信号入力時の送信内容

①ロガーデータが異常の場合

「ＩＤ ００ １３ジ３４フン ３７ド」
*2 *3 *4
*1

解　説

＊１．5-4 項②手順５にて、ＩＤ番号送信「ナシ」が選択されている場合は、付加されません。
＊２．通報器に設置されている識別番号（ＩＤ値）が送信されます。
＊３．通報をした時点のカードロガーの時刻を送信します。再通報の場合は異常発生時刻とは、異なります。
＊４．通報をした時点のカードロガーの測定データを送信します。再通報の場合は異常発生時刻の測定値とは、異なります。但し、小数点以下は省略されます。

②ロガーバッテリーや通信が異常の場合

ロガー内蔵のバッテリーが消耗した場合や、カードロガーが脱落などして、通信が不良になった場合に通報される内容です。

「ＩＤ ００ ロガーデンチ ガ ＮＧ」
*1 *2 *3

解　説

＊１．5-4 項②手順５にて、ＩＤ番号送信「ナシ」が選択されている場合は、付加されません。
＊２．通報器に設置されている識別番号（ＩＤ値）が送信されます。
＊３．通信が不良の場合は、「　ロガーツウシン　ＮＧ　」となります。

・不用意にカードロガーを通報器本体より取り外しますと、通信不良が発生したと認識されて、自動通報されますのでご注意下さい。（6-6 項　参照）
・バッテリー異常が発生しましたら、すみやかに所定のバッテリーと交換して下さい。（カードロガーの取扱説明書を参照）

C）通報器本体の電源が停電した場合

「ＩＤ ００ テイデン デス」
*1 *2

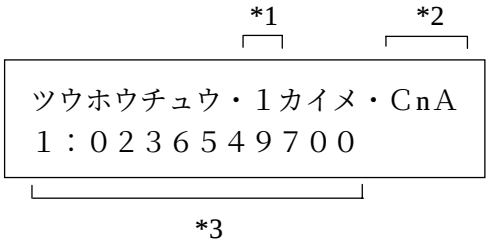
解　説

＊１．5-4 項②手順５にて、ＩＤ番号送信「ナシ」が選択されている場合は、付加されません。
＊２．通報器に設置されている識別番号（ＩＤ値）が送信されます。

・本体に停電が発生した場合のバックアップ時間は、約 60 分間です。
それ以上の時間が経過した場合は、通報動作ができなくなりますので、確実に受信ができる通報先に通報できるよう設定して下さい。
・バックアップ時間の６０分は、本体が４８時間以上無停電で、連続運転された場合の時間で、停電が頻繁に発生している場合は、６０分以下になる場合があります。
・携帯電話が取り外されていたり、バックアップ時間内に停電通報が出来ない場合は、復電した時や、携帯電話が正しく接続された時点で停電通報されます。

3）通報中の本体の表示

異常状態が発生し、本器が設定に従って通報を行っている時の本体の表示は、下図のようになります。



解　説

＊１．通報動作を行っている回数を表示します。
再通報の場合には、何回目かを示す数値が表示されます。

＊２．通報を行う異常発生元を示しています。
ＣｎＡ～ＣｎＦ：接点入力信号Ａ～Ｆの入力を示します。
ＢＡＴ：本体の停電を示します。
ＬＢＴ：専用ロガー内蔵電池の消耗を示します。新品の電池に交換して下さい。
ＬＤ１：専用ロガーの測定値１の異常を示します。
ＬＤ２：専用ロガーの測定値２の異常を示します。（2ch ﾀｲﾌﾟのみ）
ＬＩｒ：専用カードロガーの通信異常を示します。
取付が正常かどうかをチェックして下さい。

＊３．通報している通報番号とその番号に登録されている電話番号を表示しています。
通報先が複数設定されている場合は、通報順に従ってその番号が表示されています。

6-2．再通報動作

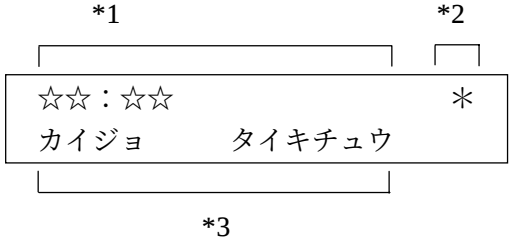
本器は、通報動作をより確実にするために、受信されなかったり、またされない可能性がある場合、設定されている通報間隔で同一メッセージを同一電話番号先へ再度通報する機能があります。再通報を行うための条件は次の通りです。

①5-1 項 手順３、または 5-2 項 手順 5 にて、通報手段が「デンワ」に設定されており、かつ再通報有に設定（5-5 項　手順３参照）されている場合であって、１回目の音声メッセージの途中で切断された場合は、再通報されます。

②通報手段が「ポケベル」または「Ｓメール」に設定されている場合は再通報の有／無設定（5-5 項　手順３参照）に関係なく、解除操作が実行されるまでは再通報されます。

⚠ ２回目の繰り返し音声メッセージ通報になった段階で切断された場合は、通報完了と判断されるため、同一電話番号への再通報は行われません。
10 回の繰り返し音声メッセージが流れたあとは、自動的に回線は切断されますが、この場合も通報完了と判断され、再通報は行いません。

再通報動作のための待機中の本体表示は、下図のようになります。



解　説

＊１．本体が通電されてからの経過時間（24 時間表示）が表示されています。
専用カードロガーが搭載されている状態では、カードロガー内部の時刻とその測定値が表示されています。

＊２．１度でも異常通報されますと「＊」マークが点滅し、本体内部に警報発生履歴が残っていることを示します。

＊３．音声メッセージ通報に設定されている電話先で通報が完了していない電話先が残っている場合は、「ツウホウ　タイキチュウ」と表示されます。

＊　再通報時の本体表示は、6-1．３）通報中の本体表示の項を参照して下さい。

6-3．再通報・後続通報の停止

本器に異常信号が入力された場合、設定された通報先の数やその順序に従って次々と通報されます。また、6-2 項の再通報の条件が成立している場合には、何度でも再通報を行いますが、本項の操作により不要な通報を停止することができます。

＊但し一度、通報停止動作を行いますと、本器に入力されている全ての異常情報が未通報先への通報も含め一切通報されなくなりますので特に注意をして操作を行ってください。

１）音声メッセージで通報を受けた場合

音声メッセージの最後で、解除確認のための音声メッセージ、
「・・・通報を解除しますか？解除する場合は０を、しない場合は１を押して下さい。」
と音声が流れますので、聞き終わった後で、後続通報を停止する場合は０を押して下さい。
解除操作を受け付けますと「通報を解除しました」の音声が流れ、回線は自動切断され、それ以降の通報は、ポケベルや携帯電話のショートメールへの再通報を含め、通報動作全てが停止されます。

・通報解除確認メッセージは、通報を受けた電話機が一般電話かＰＨＳの場合にのみ流れ、携帯電話で受信した場合は流れませんので、上記の操作はできません。
本体に登録されていない公衆電話や一般電話およびＰＨＳをご使用の場合は、次項、２）―②を参照して下さい。但し、ダイヤルパルス式の一般電話では操作できせん。

・解除操作をした後、後述のリセット操作を実施するまでは、その時発生していた全ての異常情報に関する通報は一切行われません。そのため通報優先順位の低い通報先へは１度も通報されないことが起こり得ますので、充分ご注意下さい。また、一度入力された異常入力信号は、後述するリセット操作がなされるまでは複数回入力されても１回の異常としか判断されませんのでその場合も通報されません。

・通報解除操作後に発生した新規の異常信号入力種に対しては、6-1 項および 6-2 項に従って通常の通報動作が行われます。

2）文字メッセージ（ポケベルあるいは携帯電話でのショートメール）で通報を受けた場合
文字メッセージで通報を受けた場合は、無条件に再通報されますが、受信機からはその解除操作ができませんので、次の手順が必要になります。

①自動通報器に登録されている電話番号の電話機から通報を停止させる場合

手順	内　　容
1	自動通報器に接続されている携帯電話に電話をかけます。
2	自動通報器の現在の状況が音声メッセージで流れ、その後解除メッセージが流れますので、聞き終わったあとに０を押します。
3	「通報を解除しました」の音声メッセージが確認できれば、解除操作完了です。

②自動通報器に登録されていない電話番号の電話機から通報を停止させる場合

手順	内　　容
1	自動通報器に接続されている携帯電話に電話をかけます。
2	回線が接続されても音声メッセージは流れませんが、この時に暗証番号を押します。
3	暗証番号が正しければ、自動通報器の現在の状況が音声メッセージで流れ、その後、解除メッセージが流れますので、聞き終わったあとに０を押します。
4	「通報を解除しました」の音声メッセージが解除操作完了です。

・外部から電話をかけて警報の後続通報を停止する場合、携帯電話ではできませんので一般電話（公衆電話含む）またはＰＨＳにて操作して下さい。
・解除操作をした後、後述のリセット操作を実施するまでは、その時発生していた異常情報に関する通報は一切行われません。そのため、通報優先順位の低い通報先へは１度も通報されないことがあるため、充分ご注意下さい。また、一度入力された異常入力信号は、後述するリセット操作がなされるまでは複数回入力されても１回の異常としか認識されませんのでその場合も通報されません。
・通報解除操作後に発生した新規の異常信号入力種に対しては、6-1 項および 6-2 項に従って通常の通報動作が行われます。
・本項での解除操作は、お客様の設備や環境の異常を回復させる機能ではありませんので異常通報を受信しましたら直ちに必要な回復処置をお取りください。

6-4．通報履歴（現状況）の確認

異常信号が入力され自動通報を行った場合には、表示画面の右上に「＊」マークが点滅表示されますが、その内容（履歴）を確認することができます。

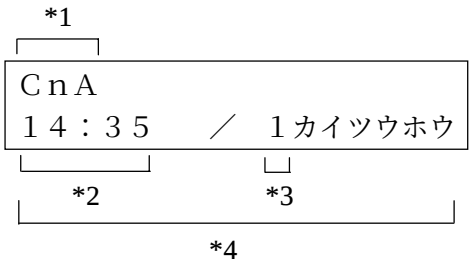
①履歴を確認したいキーを押します。

確認信号	操作キー	表示
接点A	1	ＣｎＡ
接点B	2	ＣｎＢ
接点C	3	ＣｎＣ
接点D	4	ＣｎＤ
接点E	5	ＣｎＥ
接点F	6	ＣｎＦ

確認信号	操作キー	表示
ロガーデータ１	7	ＬＤ１
ロガーデータ２	8	ＬＤ２
ロガー内蔵電池または通信	9	ＬＢＴ＊
本体電源	0	ＢＡＴ

＊通信の場合はＬＩｒ

②押した直後から約５秒間、通報履歴を表示します。



解　説

＊１．操作キーに対応し、①項の表に従った接点端子番号が表示されます。
＊２．最新の通報を行った時の本体の表示時刻を示します。
＊３．通報した回数を示します。
＊４．操作キーに対した信号に異常がなかった場合は、
「イジョウ　ハ　アリマセン」と表示されます。

6-5．外部（電話機）からの状況確認

自動通報器への各種信号の入力状況を自動通報器以外の電話から確認することができます。

1）自動通報器に登録されている電話番号の電話で確認する場合
通報器に接続されている携帯電話に電話を掛けますと、下記A）またはB）の音声メッセージが流れてきます。

2）自動通報器に登録されていない電話番号の電話で確認する場合
通報器に接続されている携帯電話に電話を掛けます。
回線が接続されている無音状態が約 60 秒間続き、その後自動切断されますが、その 60 秒の間に通報器に設定されている暗証番号を押しますと、下記A）またはB）の音声メッセージが流れてきます。

・この操作は、トーン式の一般電話やＰＨＳでは可能ですが、携帯電話やダイヤルパルス式一般電話からはできません。
・暗証番号は、一桁ずつゆっくりと確実に押して下さい。

A）全てが正常の場合

「１３時１５分　温度２５度」（*2）ＩＤ「０」（*1）正常です」

B）異常が発生している場合（音声による未通報先が残っている場合）

（*3）
（*2）「１０時５４分　温度３５度」ＩＤ（*1）「０」温度が異常です

（*4）ＩＤ（*1）「０」接点Aが異常です　（*5）ＩＤ（*1）「０」接点Cが異常です

（*6）「通報を解除しますか？解除する場合は０を、しない場合は１を押して下さい」

C）異常が発生している場合（音声による通報が完了するか後続通報を停止した場合）

（*2）「１０時５４分　温度３５度」　ＩＤ（*1）「０」異常です　」

解　説

＊１．通報器に設定されている識別番号（ＩＤ値）が通報されます。
＊２．確認電話を掛けた時点でのカードロガーの時刻および測定値が通報されますが、取り付けられていない場合は、付加されません。
＊３．カードロガーが正常であったり、取り付けられていない場合は、通報されません。
＊4.5.異常信号が入力されている端子番号が全て通報されます。異常が発生していない端子番号は通報されません。
＊６．確認のために使用した電話が一般電話やＰＨＳの場合に付加されますが、携帯電話の場合には付加されません。

・上記＊６のメッセージを聞いたあとに０を押して、**警報を解除しますと本器に入力されている全ての異常情報が未通報先への通報も含め一切通報されなくなりますので特に注意をして操作を行ってください。**但し、新しく発生した別の異常信号入力種に関する通報は行われます。また、後述のリセット操作後は、通常の監視体制に入ります。
・後続通報を停止した後，新規の異常の通報をした場合の状況確認内容は、Ｂ）に従います。但し、通報停止をした異常に関する内容は付加されません。

6-6．専用カードロガーの取り外し・再取付

通報器本体に取り付けられている専用カードロガーを、エンドレスのデータ収録器として使用し、そのデータをパソコンで読み取る場合は、本体よりカードロガーを取り外しますが、その場合には、次の操作が必要となります。但し、本体に異常信号が入力されていない（画面右側に「＊」マークが表示されていない）時にのみ取り外しができます。

１）取り外す場合

手　順

１．専用カードロガーの上部を手で押さえながら、本体に取り付けられているロガーホルダーを外します。
２．専用のカードロガーを本体から取り外したら、１分以内に#キーを押します。
本体には、「ロガー　トリハズシ　ＯＫ」と表示されます。

・上記の手順をとらずに不用意に専用カードロガーを取り外しますと通信異常が発生したと判断されますのでご注意下さい。
また、上記手順２において、１分以内に#キーを押さずに専用カードロガーを取り外した場合にも通信異常が発生したと判断されます。
・本体に他の異常信号が入力され通報されている場合（本体両面右端に「＊」マーク点滅）に上記取り外しを行いますと、通信異常が新たに発生したと判断されます。

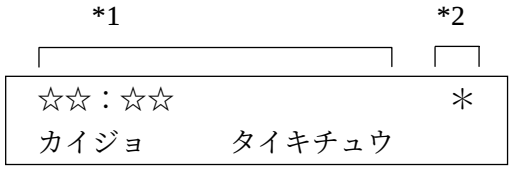
２）再取付の場合

この場合は、通報器本体のキー操作は必要ありません。（自然認識されます）
4-6 項カードロガーの設置方法を参照して取り付けて下さい。
ロガーが取り付けられていない状態で#キーを押しますと、
「ロガーヲ　セットシテクダサイ」
と表示されますが、この時にセットする必要はありません。

6-7．通報リセット

6-3 項での操作は、その操作以降の通報動作を停止させるためのもので、通報器本体の状況を正常時の状態に戻す（リセット）ものではありません。
本器が通報する原因となった異常状態を直ちに復旧させた後、再度監視状態にするためには、通報器本体をリセットさせる必要があります。

6-3 項の操作による解除操作がなされた後の表示は下図の通りのようになっています。



解　説

＊１　本体が通電されてからの経過時間（24 時間表示）が表示されています。
専用カードロガーが設置されている場合は、カードロガー内部の時刻とその測定値が表示されています。

＊２　リセットされるべき異常信号の入力履歴が記憶されていることを示す「＊」マークが点滅しています。

リセット操作の手順

手順	内　　容
1	通報器本体の登録・確認キーを５秒間連続押して下さい。
2	ツウホウヲ　カイジョシマシタ　　の表示が出れば完了です。 その後は、初期状態の画面に戻ります。

⚠
・一度入力された異常入力信号は、本項でのリセット操作がなされるまでは、複数回入力されても１回の異常としか判断されません。
・新しい監視をスタートする場合は、必ずリセット操作をし、「＊」マークが消えていることを確認して下さい。

７．その他の取り扱い

7-1．通報器本体のその他の表示

１）通報時（6-1 項参照）

異常信号入力があり、通報動作を行う時に携帯電話との接続が正常で、携帯電話動作が正常であっても、下図の表示が出ることがありますが、この場合、数秒～十数秒後には正常通報動作時の表示に戻り、通報が実行されます。

ケイタイ　ガ　ハンノウシマセン

２）外部電話機により（後続）通報解除した時（6-3 項参照）

一般電話またはＰＨＳでの0キー操作による通報解除が行われた時、通報器本体では次の表示が出ます。

ツウホウヲ　カイジョシマシタ

３）外部電話機により状況確認がなされた時（6-5 項参照）

Ａ）異常信号が入力され、通報したあとで確認された場合

*1

ホウコクチュウ　　ＣｎＡ ０２３６５４９７００

*2

解　説

＊１．異常が発生していない場合は、「セイジョウ」と表示されます。
＊１．異常が発生している場合は、発生異常種の重要度の高い順にその異常種を１種表示します。
＊２．確認電話を掛けてきた電話の電話番号を表示します。

優先順位	表　　示	内　　容
1	BAT	本体停電
2	LBT	ロガー内蔵電池消耗
3	LIr	ロガー通信不良
4	LD1	ロガー測定値１異常
5	LD2	ロガー測定値２異常
6	CnA	接点入力端子Ａ
7	CnB	接点入力端子Ｂ
8	CnC	接点入力端子Ｃ
9	CnD	接点入力端子Ｄ
10	CnE	接点入力端子Ｅ
11	CnF	接点入力端子Ｆ

⚠ 番号非通知の電話機やダイヤルパルス式の一般電話機では、状況確認できません。

7-2．その他の操作

1）設定内容の初期化（工場出荷時の状態に戻す）

監視対象や連絡先・方法等の大幅な変更、または新設備への移動等で、これまでの設定内容を広範囲に渡って変更する場合は、設定内容を工場出荷状態に初期化してから、新規設定を行った方が簡単な場合があります。

手順	表示内容	操作内容	備　　考
1	☆☆：☆☆	FNC キーを約５秒間押します。	
2	セッテイ　[０]ホンタイ [１]―[８]：ツウホウサキ	９のキーを約 10 秒押します。	[0]や[1]-[8]の操作は、5-2 項, 5-3 項を参照して下さい。
3	セッテイ　ヲ　クリアシマス [FNC]デチュウシデキマス	確認キーを押すと初期化をスタートします。 FNC キーを押すと時刻画面に戻ります。	１度確認キーを押しますと、途中では停止できませんのでご注意下さい。
4	セッテイ　ヲ　クリアシマス シバラク　オマチクダサイ	約 35 秒間左記の表示が出た後に時刻画面に戻ります。	
6	☆☆：☆☆		初期化完了です。

工場出荷時の初期値

項　　目	内　　容	参照項
通報先（電話番号）	No.1～No.8 全てブランク（空）	5-1，5-2
通報手段	全て「デンワ」による音声メッセージ	
ＩＤ番号	「００」	5-3
暗証番号	「００００」	
接点入力モード	「A」：導通時異常	5-4 ①
文字メッセージ	「セッテン□ガイジョウデス」＊1 □内は､接点入力端子番号に応じてＡ～Ｆが入ります。	5-4 ②
ＩＤ番号付加送信	有	
音声メッセージ	「接点□が異常です」＊1 □内は､接点入力端子番号に応じてＡ～Ｆが入ります。	5-4 ③
通報先（の選択）・通報順	登録された電話番号先全てに No.1→No.8 の順序で通報	5-4 ④
再通報	有	5-5
再通報間隔	15 分	

＊１　接点入力端子に対するメッセージでは、変更できますが、それ以外の異常信号入力種（停電, カードロガー関係）は変更できません。

８．故障？と思ったとき

修理や調査を依頼される前に、下記のトラブルシューティング表に基づいてチェックしていただくことをお勧めします。そのうえで、不具合現象が修復されない場合は、裏表紙の弊社営業所または購入店へご連絡下さい。

トラブルシューティング表

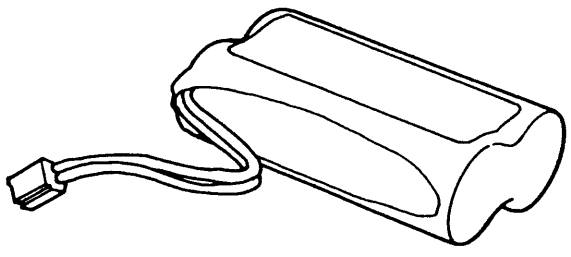
No.	現　象	確　認　内　容	処　置	参照項
1	表示が出ない	・停電しているか、またはＡＣアダプタのコンセントやジャックが抜けている。 ・上記の状態になってから１時間以上経過している。	電源が供給されるようにする。	4 4-3
2	設定(変更)ができない	・通報中、または通報動作が行われた後で、解除待機中になっている。 ・本体表示部右端に「＊」マークが点滅している。	通報リセットする。	6-7
		・操作方法，手順が間違っている。	正しい手順で操作する。	5
3	通報しない	・携帯電話が接続されていないか、接続ケーブルが緩んでいる。	ケーブルの両端をしっかり接続する。	4-4 4-5
		携帯電話の表示が消えている。／携帯電話の周辺温度が使用温度範囲(5～35℃)を超えているため、充電されていない。	使用温度範囲内で使用する。	1 4-1
			低温の場合は、ヒータ等で暖める。	4-5
		・携帯電話の受信感度が弱い。	設置場所を移動し、受信感度が強くなるようにする。	4-1
		・設定が間違っている。 （通報先電話番号,通報手段,通報先選択,接点入力モード）	正しく設定する。	5
		・カードロガーの動作や設置が不良。	正しく設置する。 カードロガー専用取扱説明書を参照。	4-6
		・端子入力の結線が外れている。 または、間違っている。	正しく結線する。	4-7
		・設置されている携帯電話の受信感度が弱い。	設置場所を受信感度の強い所に移す。	4-1
4	受信音声が小さく、途中で切れてしまう	・受信している携帯電話の受信感度が弱い。	受信感度の強い場所に移動する。	――

No.	現　象	確　認　内　容	処　置	参照項
5	受信した電話機で、後続通報が停止できない	・受信している電話が携帯電話かダイヤルパルス式の一般電話である。	ＰＨＳかトーン式の一般電話で受信するように変更する。	5-1 5-2
			ＰＨＳかトーン式の一般電話で通報を停止する。	6-3-2)② 6-5
6	電話で状況確認ができない	・登録電話であっても、番号非通知となっている。	番号通知にする、または暗証番号を入力する。	——
		・登録されている電話番号でない。		
7	掛けた電話で後続通報が停止できない	・ダイヤルパルス方式の一般電話か、または携帯電話を使用している。	トーン式の一般電話かＰＨＳを使用する。	6-5
8	停電時バックアップしない 停電通報しない	・通電後の時間が短く、内部電池に充電されていない。	48時間以上通電運転する。	6-1-1)C) 6-1-2)C)
		・使用後、時間が経過しており、その間500時間以上の停電が発生し、内蔵電池の寿命がきている。	当社にご連絡く下さい。	——

お 願 い ！

Ｎｉ－Ｃｄ

この製品に使用しているニカド電池は
リサイクル可能な貴重な資源です。
環境保全のため、回収にご協力ください。
（回収の際は当社までご連絡ください。）



ニカド電池

９．仕様

１）適用接続電話：ＮＴＴ ＤｏＣｏＭｏの携帯電話（機種 207/501ｉ・または同等機種以降）
ＰＨＳやＮＴＴ ＤｏＣｏＭｏ以外の携帯電話は使用できません。

２）通報トリガ
① 接点入力：６点（ａ接点またはｂ接点の設定可）
② 停電発生時
専用カードロガー使用時
③ 測定値警報発生時
④ 専用カードロガーの電池電圧低下時、または通信不良時

３）通報先登録
最大 8 ヶ所（任意設定）　　携帯電話・ＰＨＳ・一般電話・ポケベル

４）通報手順
トリガ入力種（ＭＲ測定値・通信／ＭＲバッテリー／接点入力／停電）毎に通報先および順序指定可。
但し、３）項での登録先内からの選択による。
また、一般電話（ダイヤルパルス式は除く）、ＰＨＳにて音声メッセージ送信時、キー操作により後続通報停止も可。

５）通報内容
①電話機への合成音声メッセージ
○ 温度：ID 番号およびトリガ時の測定値および測定時刻
○ 接点：ID 番号および異常接点番号(フリーワードの組み合わせによる音声メッセージ作成可)
○ 停電：ID 番号および停電発生
②ポケベルまたはショートメールによる文字メッセージ
（ショートメールの場合は NTT DoCoMo 携帯電話使用時　他メーカまたは PHS は不可）
○ 温度：ID 番号およびトリガ時の測定値および測定時刻
○ 接点：ID 番号および異常接点番号（フリーメッセージも可）
○ 停電：ID 番号および停電発生

６）再通報
トリガ入力種毎、有／無の設定可(文字ﾒｯｾｰｼﾞ通報の場合、通報解除操作するまで無条件再通報)
有に設定した場合、音声メッセージ通報の場合、メッセージ伝達完了または通報解除操作するまで再通報
再通報間隔：１５分～３０分の間で設定可（５分ステップ）

７）通報解除（後続通報の停止）
①音声メッセージ通報受信電話機でのキー操作(一般電話、ＰＨＳで受信の場合)
②本体への状態確認時の電話機からのキー操作(一般電話、ＰＨＳでの状態確認の場合)
後続通報の停止操作は携帯電話やダイヤルパルス式一般電話からは不可
③通報器本体キー操作によるリセット（監視状況の初期化）

８）状態確認（本体への電話機による状況確認）

①カードロガー使用時：最新測定値および測定時刻と警報有無、内蔵バッテリー状態（異常時のみ）

②その他の場合：異常発生接点種および供給電源状態

全項目正常の場合は、「セイジョウ　デス」の音声メッセージのみ

状態確認は通報の為に登録された電話機(電話番号)で可能　また未登録であっても一般電話、ＰＨＳからは暗証番号の入力で状態確認が可能

未登録の携帯電話や番号非通知設定された登録済みの携帯電話、またはダイヤルパルス式の一般電話からは状態確認は不可

９）表示方法

反射形液晶表示　１６桁×２行（5×7 ドットキャラクタ表示）

10）表示内容

①通常時：時刻（カードロガー接続時のみ）

通報記録

本体キーによる警報解除まで保持

その他、本体ステータス(セルフチェックなど)

②通報時：通報先、通報種、初／再通報

③設定時：設定項目および設定内容

11）設定方法

使用キー：0～9，＃，＊，FNC，登録／確認の 14 種

12）設定項目

①ID 番号：00～99 の２桁（初期値　00）

②通報先電話番号：最大 20 桁を８種（初期値　ブランク）

③通報種：音声／ショートメール／ポケベル（初期値　音声）

④文字メッセージ：通報種がポケベルまたはショートメールの場合で、通報トリガ入力が接点の場合のみ

20 文字６件（入力接点に対応）…有効文字数はショートメール仕様による

但し、ポケベルの場合の有効文字数はポケベル仕様による

（初期メッセージは「ID０セッテン□ガ　イジョウデス」）

□内はＡ～Ｆが入ります

⑤音声メッセージ：通報種が音声通報の場合で、通報トリガ入力が接点の場合のみ

ワードリストからの自由な組み合わせによる音声メッセージの作成

（初期メッセージは「ID０接点□が　異常です」）

□内はＡ～Ｆが入ります

⑥接点入力動作モード（初期値はａ接点）

⑦トリガ種毎の通報先および通報順：初期値は登録番号順に全登録先へ通報

⑧トリガ種毎の再通報有無：初期値　有

⑨再通報時間：15～30 分（５分間隔）初期値 15 分

⑩暗証番号：４桁

13）使用環境

５～35℃　20～80%RH（結露しないこと）

14）電　源

90～110V AC　50／60Hz（専用 AC アダプタ MV9000 使用）

15）停電バックアップ

内蔵ニッカド電池によるバックアップ（60 分以上）

16）外形寸法・質量・材質

・本　　体　：　約 160(W)×160(H)×53(D)*　・約 370ｇ・ＡＢＳ樹脂
＊ロガーホルダー使用時は 70（D）

・付属品

ロガーホルダー：　約 67(W)×50(H)×25(D)・約 10ｇ・ＡＢＳ樹脂

接続ケーブル：　ケーブル長さ約 600mm・約 52ｇ
・　ケーブル部ＰＶＣ／コネクタ部ＡＢＳ樹脂

ＡＣアダプター：　本体部約 53(W)×76(H)×44(D)*／ケーブル長さ約２m・約 240g
・本体部ＡＢＳ樹脂／ケーブル部ＰＶＣ
＊プラグ部の凸寸法は含まず

＜メモ＞

1）個別設定パラメータ

通報先番号	電話番号	通報種＊
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

＊デンワ／ポケベル／Ｓメール

異常信号種	再通報＊	通報順
A		
B		
C		
D		
E		
F		
ロガーデータ 1		
ロガーデータ 2		
ロガー電池･通信		
本体停電		

＊有り／無し

端子番号	動作モード ＊1	ＩＤ番号付加 ＊2	文字メッセージ	音声メッセージ
A				
B				
C				
D				
E				
F				

＊1　Ａモード／Ｂモード

＊2　有り／無し

2）本体固有パラメータ

項目	内容
ＩＤ番号	
暗証番号	
再通報間隔	分

〈お問い合わせ先〉

商品についてのお問い合わせ先

株式会社 チノー

本　　社	東京都板橋区熊野町３２－８	TEL　０３－３９５６－２１１１
	民生機器事業部	TEL　０３－３９５６－２１３１
東京支店	東京都板橋区熊野町３２－８	TEL　０３－３９５６－２２０５
北部支店	埼玉県さいたま市大宮区宮町２－８１ （日本生命大宮 アネックス）	TEL　０４８－６４３－４６４１
大阪支店	大阪府吹田市江坂町１－２３－１０１ （大同生命江坂ビル）	TEL　０６－６３８５－７０３１
名古屋支店	名古屋市中村区那古野１－４７－１ （名古屋国際センタービル２４階）	TEL　０５２－５８１－７５９５

技術的なお問い合わせ先

株式会社 山形チノー（製造元）		TEL　０２３―６５４―９７００
山形県天童市大字乱川１５１５		FAX　０２３－６５２－０１７１